

福江島 (長崎県五島市)

第5世代移動通信システムの活用と
水産資源回復の実証調査

《概要》

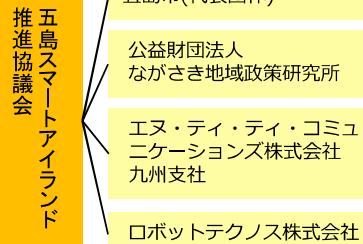
島内人口(H27)：34,419人

島の課題

- 水産業は五島市の基幹産業であるが、ウニの食害による磯焼けで漁獲量が減少している。
⇒磯焼け対策を推進していく必要がある。
- 磯焼け対策の担い手が不足している。
⇒磯焼け対策の省力・省人化に取り組む必要がある。



調査体制



主な取組概要

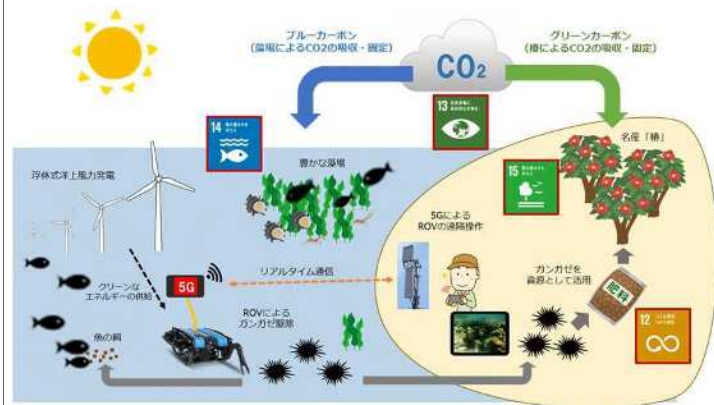
- キャリア 5Gを使った水中ドローン遠隔操作によるガンガゼ(ウニ)駆除
- 5Gによる高速通信を使用し、水中ドローンを遠隔操作してガンガゼ駆除を行い、磯焼け対策への省力・省人化の可能性を効果検証する。
また、ガンガゼの加工・商品化による、新たな産業としての活用の可能性を調査する。

目指す姿・期待する効果

●豊かな資源を活用してゼロカーボンに取り組むサステナブルな島の実現

磯焼け対策として人の手で実施しているガンガゼ駆除を水中ドローンを活用して実施することで担い手不足の解消に繋がり、磯焼け対策の取組が持続可能となる。

また、磯焼け対策を持続可能にすることにより、藻場を再生することに繋がり、五島市の基幹産業である漁業の振興を図ることが可能となる。



磯焼け状態



藻場の再生